



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月14日

上場会社名 ICDAホールディングス株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 3184 URL <https://www.icda.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)向井 弘光
 問合せ先責任者 (役職名)管理部長 (氏名)服部 宝 (TEL) 059-381-5540
 定時株主総会開催予定日 2021年6月23日 配当支払開始予定日 2021年6月24日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月24日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	26,717	△1.3	1,460	30.7	1,456	28.3	788	16.0
2020年3月期	27,065	△4.0	1,117	△2.6	1,135	△0.9	679	△7.9
(注) 包括利益	2021年3月期		868百万円 (27.8%)		2020年3月期		679百万円 (△6.1%)	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	375.45	—	12.7	9.9	5.5
2020年3月期	323.57	—	12.3	7.7	4.1

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 ー百万円 2020年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	14,716	6,763	44.5	3,119.21
2020年3月期	14,663	6,006	39.7	2,772.15
(参考) 自己資本	2021年3月期 6,549百万円		2020年3月期 5,821百万円	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	2,511	△1,262	△1,229	882
2020年3月期	1,903	△1,109	△713	862

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00	104	15.5	1.9
2021年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00	104	13.3	1.7
2022年3月期(予想)	—	0.00	—	50.00	50.00		11.4	

3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,379	9.1	593	△11.6	596	△11.3	386	△14.2	183.85
通期	28,000	4.8	1,399	△4.2	1,400	△3.9	922	17.0	439.21

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	2,100,000株	2020年3月期	2,100,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期	207株	2020年3月期	133株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	2,099,840株	2020年3月期	2,099,921株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	514	1.2	134	4.1	164	△0.1	129	△16.5
2020年3月期	508	△1.0	129	△2.1	164	△1.4	155	△1.2

	1株当たり当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	
	円	銭	円	銭
2021年3月期	61	81	—	—
2020年3月期	73	98	—	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
2021年3月期	5,546		2,802		50.5	1,334	57	
2020年3月期	6,335		2,767		43.7	1,318	00	

(参考) 自己資本 2021年3月期 2,802百万円 2020年3月期 2,767百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況

(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループの主要事業である自動車販売関連事業において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって第1四半期連結会計期間に、政府より緊急事態宣言が発出された事を受け、イベント等の広告宣伝活動を自粛した事により、来店者数が大幅に減少し新規来場に係る受注は減少いたしました。しかし、既存顧客に対するフォロー活動を継続的に行うことで、既存顧客からの受注は増加いたしました。また、広告宣伝活動等の自粛の影響により、販売費及び一般管理費が減少いたしました。

第2四半期連結会計期間以降は、政府の緊急事態宣言解除後、当社グループの主力エリアである三重県下における、新型コロナウイルス感染症の沈静化傾向を受けて、感染拡大防止策を取りながら、社会経済活動のレベルが引き上げられたことにより、緩やかな回復基調となっております。しかし、第3四半期連結会計期間以降は、新型コロナウイルス感染症の感染者が増加に転じた事による経済活動の停滞がありました。さらに、世界的な半導体不足による車両生産遅れが発生したことで、若干業績への影響がありました。

これらの結果、売上高は267億17百万円と前年同期と比べ3億48百万円(1.3%)の減収、営業利益は14億60百万円と前年同期と比べ3億43百万円(30.7%)の増益、経常利益は14億56百万円と前年同期と比べ3億20百万円(28.3%)の増益、親会社株主に帰属する当期純利益は7億88百万円と前年同期と比べ1億8百万円(16.0%)の増益となりました。

① 売上高及び営業利益

売上高は267億17百万円と前年同期と比べ3億48百万円(1.3%)の減収、営業利益は14億60百万円と前年同期と比べ3億43百万円(30.7%)の増益となりました。セグメント毎の売上高及び営業利益は以下のとおりであります。

(自動車販売関連事業)

当セグメントにおきましては、国産新車販売は、上記に記載のとおり、新規顧客からの受注が減少いたしました。既存顧客からの受注は堅調に推移いたしました。国産新車販売台数は、前年同期比3.0%減の4,986台となりました。また、輸入車においても、国産新車販売と同様の状況となり、輸入車販売台数は、前年同期比15.0%減の482台となりました。これらの結果、新車販売台数は前年同期比4.2%減の5,468台となりました。

中古車販売についても、新車販売と同様の状況ではありますが、既存顧客からの受注が増加した事と、輸入車販売店における輸入中古車販売が増加いたしました。また、中古車卸売(業販)については、オークション市場低迷の影響を受けたためオークション出品を取り止めて、顧客に対する販売(直販)にシフトする体制といたしました。これらの結果、中古車販売台数は前年同期比0.2%減の9,802台となりましたが、中古車販売に係る売上総利益率の改善が図られました。

これらの結果、売上高は258億4百万円と前年同期と比べ4億31百万円(1.6%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は14億96百万円と前年同期と比べ2億75百万円(22.6%)の増益となりました。

(自動車リサイクル事業)

当セグメントにおきましては、第2四半期連結累計期間までは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、輸出関連売上及び、鉄・銅・アルミ等の資源相場低迷を受けて資源関連売上が影響を受けておりましたが、国内向けのリユースパーツ販売を強化することで安定した売上を確保することができました。さらに、第3四半期連結会計期間以降は、鉄及び希少金属類の資源相場が大幅に上昇したため資源関連売上が増加いたしました。売上高の増加に伴い、生産台数(再資源化处理)は、前年同期比4.8%増の10,502台となり、使用済自動車の入庫は、前年同期比0.5%減の10,394台となりました。

これらの結果、売上高は9億12百万円と前年同期と比べ83百万円(10.0%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は1億85百万円と前年同期と比べ59百万円(46.9%)の増益となりました。

② 経常利益

営業外損益は、支払手数料及び固定資産除却損の増加により、営業外費用は増加いたしました。営業利益の増加により、経常利益は14億56百万円と前年同期と比べ3億20百万円(28.3%)の増益となりました。

③ 親会社株主に帰属する当期純利益

親会社株主に帰属する当期純利益は、減損損失及び投資有価証券評価損の計上により特別損失が1億58百万円発生しましたが、経常利益の増加により、税金等調整前当期純利益は12億97百万円と前年同期と比べて1億84百万円(16.6%)の増益となり、法人税等(法人税等調整額を含む)は4億75百万円となりました。これらの結果、当連結会計年度における親会社株主に帰属する当期純利益は7億88百万円と前年同期と比べ1億8百万円(16.0%)の増益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産の部

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末より52百万円増加し、147億16百万円となりました。これは主に、商品及び製品の増加3億44百万円、建物及び構築物の減少2億31百万円、土地の減少64百万円等によるものであります。

② 負債の部

当連結会計年度末における負債は、前連結会計年度末より、7億4百万円減少し79億52百万円となりました。これは主に、借入金の減少11億13百万円、前受金の増加2億33百万円等によるものであります。

③ 純資産の部

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末より、7億57百万円増加し、67億63百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の計上7億88百万円、配当金の支払1億4百万円による利益剰余金の増加等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は8億82百万円(前年同期比2.3%増)となりました。当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は25億11百万円(前年同期比32.0%増)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が12億97百万円、減価償却費7億11百万円、たな卸資産の減少額4億13百万円等による資金の増加と、法人税等の支払額4億48百万円等による資金の減少によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は12億62百万円(前年同期比13.8%増)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出12億58百万円等であります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果支出した資金は12億29百万円(前年同期比72.4%増)となりました。これは主に短期借入金の減少額7億円、長期借入金の返済による支出4億13百万円、配当金の支払額1億5百万円等による資金の減少によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率(%)	28.0	30.1	35.1	39.7	44.5
時価ベースの自己資本比率(%)	20.3	22.6	27.3	16.9	34.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	4.8	2.4	1.6	2.0	1.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	26.7	51.8	75.3	64.6	112.0

※ 各指標の算出方法は次のとおりであります。

- ・自己資本比率：自己資本／総資産
 - ・時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産
 - ・キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー
 - ・インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い
1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
 2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。
 3. キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。
 4. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

自動車販売関連事業においては、経済活動は緩やかながら回復基調であることと、既存顧客に対するフォロー活動を強化することで、一定の車両販売の受注は確保できるものと考えております。また、点検・車検等の修理売上部門においても、2021年3月期実績は堅調に推移いたしました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響及び自動車向け半導体の不足による各新車メーカーからの商品供給については不安定な状況は継続することが、懸念材料として考えられます。

これらにより、国産新車販売台数は5,100台(前年同期比2.3%増)、輸入新車販売台数は550台(前年同期比14.1%増)の合計5,650台(前年同期比3.3%増)、中古車販売台数は10,300台(前年同期比5.1%増)を計画しております。

自動車リサイクル事業では、海外取引については回復傾向にあるものの、鉄・アルミ等の資源相場が今後、大幅に上昇する見込みが低いため、国内向けのリユースパーツ販売の強化を図ることで、生産台数10,500台(前年同期は10,502台)を計画しております。

以上の見通しにより、通期連結業績予想として、売上高は280億円(前年同期比4.8%増)、営業利益は13億99百万円(前年同期比4.2%減)、経常利益は、14億円(前年同期比3.9%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は9億22百万円(前年同期比17.0%増)を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、現在、日本国内において事業展開をしていることから、当面は日本基準に基づいて連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準(IFRS)の適用につきましては、今後の事業展開や国内同業他社の動向を踏まえ、検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	942,408	962,077
受取手形及び売掛金	432,738	393,052
商品及び製品	2,263,310	2,608,236
仕掛品	3,599	2,531
原材料及び貯蔵品	46,556	57,858
その他	208,583	226,732
貸倒引当金	△266	△145
流動資産合計	3,896,929	4,250,344
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,740,846	6,749,278
減価償却累計額	△3,865,752	△4,105,806
建物及び構築物（純額）	2,875,093	2,643,472
機械装置及び運搬具	2,191,610	2,128,893
減価償却累計額	△1,099,186	△1,062,408
機械装置及び運搬具（純額）	1,092,423	1,066,484
土地	5,599,679	5,535,455
その他	594,962	585,827
減価償却累計額	△487,136	△475,750
その他（純額）	107,825	110,077
有形固定資産合計	9,675,022	9,355,489
無形固定資産	59,668	52,661
投資その他の資産		
投資有価証券	216,629	245,431
繰延税金資産	439,093	438,606
その他	376,217	373,587
投資その他の資産合計	1,031,940	1,057,625
固定資産合計	10,766,632	10,465,776
資産合計	14,663,562	14,716,120

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,691,897	1,728,993
短期借入金	2,700,000	2,000,000
1年内返済予定の長期借入金	413,258	282,565
未払金	282,002	332,447
未払法人税等	269,023	314,760
前受金	1,163,837	1,397,071
賞与引当金	160,649	154,568
その他	187,839	207,861
流動負債合計	6,868,508	6,418,268
固定負債		
長期借入金	683,665	401,100
役員退職慰労引当金	303,415	310,831
退職給付に係る負債	739,270	753,779
資産除去債務	43,704	44,547
その他	18,930	24,247
固定負債合計	1,788,986	1,534,506
負債合計	8,657,495	7,952,774
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,161,078	1,161,078
資本剰余金	1,148,992	1,148,992
利益剰余金	3,549,631	4,233,030
自己株式	△236	△378
株主資本合計	5,859,465	6,542,723
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△31,527	4,439
退職給付に係る調整累計額	△6,771	2,539
その他の包括利益累計額合計	△38,299	6,979
非支配株主持分	184,900	213,644
純資産合計	6,006,066	6,763,346
負債純資産合計	14,663,562	14,716,120

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	27,065,903	26,717,330
売上原価	21,836,979	21,256,515
売上総利益	5,228,924	5,460,814
販売費及び一般管理費	4,111,784	4,000,441
営業利益	1,117,139	1,460,373
営業外収益		
受取利息	126	114
受取配当金	7,978	7,606
受取賃貸料	12,055	11,400
受取保険金	24,313	11,773
受取負担金	6,484	2,662
その他	10,575	8,097
営業外収益合計	61,534	41,654
営業外費用		
支払利息	29,504	22,558
支払手数料	7,324	11,160
固定資産除却損	2,782	9,924
その他	3,188	1,592
営業外費用合計	42,799	45,235
経常利益	1,135,874	1,456,791
特別利益		
固定資産売却益	77,217	—
受取保険金	38,677	—
特別利益合計	115,895	—
特別損失		
減損損失	99,816	130,697
投資有価証券評価損	—	28,125
和解金	38,677	—
特別損失合計	138,493	158,823
税金等調整前当期純利益	1,113,275	1,297,968
法人税、住民税及び事業税	446,679	495,344
法人税等調整額	△34,009	△19,435
法人税等合計	412,669	475,909
当期純利益	700,605	822,058
非支配株主に帰属する当期純利益	21,117	33,666
親会社株主に帰属する当期純利益	679,488	788,392

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	700,605	822,058
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21,069	35,966
退職給付に係る調整額	△437	10,078
その他の包括利益合計	△21,506	46,045
包括利益	679,099	868,104
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	658,808	833,670
非支配株主に係る包括利益	20,290	34,433

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	1,161,078	1,148,992	2,975,140	△107	5,285,102	△10,458	△7,161	△17,619	170,299	5,437,782
当期変動額										
剰余金の配当			△104,996		△104,996					△104,996
親会社株主に帰属する 当期純利益			679,488		679,488					679,488
自己株式の取得				△128	△128					△128
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						△21,069	389	△20,679	14,600	△6,078
当期変動額合計	—	—	574,491	△128	574,362	△21,069	389	△20,679	14,600	568,283
当期末残高	1,161,078	1,148,992	3,549,631	△236	5,859,465	△31,527	△6,771	△38,299	184,900	6,006,066

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	1,161,078	1,148,992	3,549,631	△236	5,859,465	△31,527	△6,771	△38,299	184,900	6,006,066
当期変動額										
剰余金の配当			△104,993		△104,993					△104,993
親会社株主に帰属する 当期純利益			788,392		788,392					788,392
自己株式の取得				△141	△141					△141
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						35,966	9,311	45,278	28,743	74,022
当期変動額合計	—	—	683,399	△141	683,257	35,966	9,311	45,278	28,743	757,279
当期末残高	1,161,078	1,148,992	4,233,030	△378	6,542,723	4,439	2,539	6,979	213,644	6,763,346

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,113,275	1,297,968
減価償却費	690,652	711,448
減損損失	99,816	130,697
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,610	△6,081
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	13,296	7,415
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	42,801	28,948
受取利息及び受取配当金	△8,105	△7,720
支払利息	29,504	22,558
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	28,125
受取保険金	△38,677	—
和解金	38,677	—
固定資産売却損益 (△は益)	△77,217	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△22,781	39,686
たな卸資産の増減額 (△は増加)	786,041	413,671
仕入債務の増減額 (△は減少)	△241,342	37,095
前受金の増減額 (△は減少)	6,621	233,233
その他	△71,387	38,340
小計	2,367,784	2,975,388
利息及び配当金の受取額	8,105	7,720
利息の支払額	△29,474	△22,428
保険金の受取額	38,677	—
和解金の支払額	△38,677	—
法人税等の支払額	△443,340	△448,810
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,903,074	2,511,869
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△80,028	△80,030
定期預金の払戻による収入	80,025	80,028
有形固定資産の取得による支出	△1,331,013	△1,258,287
有形固定資産の売却による収入	239,439	—
投資有価証券の取得による支出	△5,642	△5,398
その他	△11,859	1,400
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,109,079	△1,262,288
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100,000	△700,000
長期借入金の返済による支出	△497,898	△413,258
配当金の支払額	△104,754	△105,540
非支配株主への配当金の支払額	△5,690	△5,690
その他	△5,082	△5,425
財務活動によるキャッシュ・フロー	△713,425	△1,229,914
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	80,569	19,667
現金及び現金同等物の期首残高	781,810	862,380
現金及び現金同等物の期末残高	862,380	882,047

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループでは、純粋持株会社体制のもと、各事業会社によって、その取り扱う商品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは事業会社を基礎とした商品・サービス別のセグメントから構成されており、「自動車販売関連事業」及び「自動車リサイクル事業」の2つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「自動車販売関連事業」は、各メーカーの正規ディーラーとして新車・輸入車の販売及び修理を行う新車部門、中古車の販売・買取及び修理を行う中古車部門、自動車の車検・点検整備等を行うサービス部門などの事業を行っております。なお、当事業に㈱ホンダ四輪販売三重北及び㈱オートモールが該当いたします。

「自動車リサイクル事業」は、自動車リサイクル法に基づいた使用済自動車の解体及び再資源品の販売、リユースパーツの国内外への販売を行っております。なお、当事業に㈱マーク・コーポレーションが該当いたします。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部利益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額
	自動車販売 関連事業	自動車 リサイクル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	26,236,489	829,413	27,065,903	—	27,065,903
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15,075	27,546	42,622	△42,622	—
計	26,251,565	856,959	27,108,525	△42,622	27,065,903
セグメント利益	1,221,027	126,369	1,347,396	△230,257	1,117,139
セグメント資産	12,790,556	1,083,881	13,874,437	789,124	14,663,562
セグメント負債	8,329,390	153,574	8,482,965	174,530	8,657,495
その他の項目					
減価償却費	646,702	37,027	683,729	6,922	690,652
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,282,149	13,315	1,295,464	11,802	1,307,266

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△230,257千円には、セグメント間取引消去△79千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△230,178千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない純粋持株会社である当社の子会社統括事業に係る費用であります。
 - (2) セグメント資産の調整額789,124千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない土地であります。
 - (3) セグメント負債の調整額174,530千円は、各報告セグメントに配分していない全社負債であります。全社負債は、主に報告セグメントに帰属しない役員退職慰労引当金であります。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額
	自動車販売 関連事業	自動車 リサイクル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	25,804,734	912,596	26,717,330	—	26,717,330
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,610	23,385	35,996	△35,996	—
計	25,817,344	935,982	26,753,327	△35,996	26,717,330
セグメント利益	1,496,655	185,691	1,682,346	△221,972	1,460,373
セグメント資産	12,499,899	1,163,117	13,663,017	1,053,103	14,716,120
セグメント負債	7,569,397	190,485	7,759,882	192,891	7,952,774
その他の項目					
減価償却費	673,728	30,388	704,116	7,331	711,448
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,276,573	15,204	1,291,777	2,584	1,294,362

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△221,972千円には、セグメント間取引消去273千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△222,246千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない純粋持株会社である当社の子会社統括事業に係る費用であります。
 - (2) セグメント資産の調整額1,053,103千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない土地であります。
 - (3) セグメント負債の調整額192,891千円は、各報告セグメントに配分していない全社負債であります。全社負債は、主に報告セグメントに帰属しない役員退職慰労引当金であります。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	2,772.15円	3,119.21円
1株当たり当期純利益	323.57円	375.45円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎

項目	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	6,006,066	6,763,346
普通株式に係る純資産額(千円)	5,821,166	6,549,702
差額の主な内訳(千円)		
非支配株主持分	184,900	213,644
普通株式の発行済株式数(株)	2,100,000	2,100,000
普通株式の自己株式数(株)	133	207
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(株)	2,099,867	2,099,793

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	679,488	788,392
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	679,488	788,392
普通株式の期中平均株式数(株)	2,099,921	2,099,840

(重要な後発事象)

該当事項はありません。